

牛久市長の台湾・桃園市への訪問及びジョージア国テラヴィ市代表団の当市来訪について

1. 台湾・桃園市への訪問について

昨年来、交流を進めております台湾・桃園市につきまして、今般、同市観光旅行局長より2月25日から3日間の日程で、同市で開催される「桃園ランタンフェスティバル」へご招待されたことから、沼田市長が同行事へ参加してまいりますのでご報告いたします。

記

(1) 経緯

台湾・桃園市との交流は、沼田市長が県市長会による台湾訪問に合わせ、桃園市にある聖光彫塑實業（牛久大仏を製造した会社）及び桃園市政府を表敬訪問したことを契機として始まりました。その後、桃園市長からのご招待を受け、令和7年2月11日から14日までの4日間、桃園市で開催された「台湾ランタンフェスティバル」へ参加し、桃園市長及び、桃園市の観光分野を担当されている観光旅行局長や同副局長と面談するなど、交流を深めてまいりました。桃園市は、国際空港を擁する人口230万人超の大都市であり、たいへん勢いのある街であることから、同市との観光あるいは文化的な相互交流は、当市にとってたいへん有意義であると捉え、現在調整を進めているところです。

そのような中、今般、同市観光旅行局長から、今月開催される「桃園ランタンフェスティバル」へご招待されたことから、同市との交流をさらに深めるべく、沼田市長が同行事へ参加することとなったものです。

(2) 訪問日程

令和8年2月25日(水)から2月27日(金)までの3日間

(3) 訪問者

沼田和利市長及び随員職員2名

(4) 訪問費用

3日間の訪問者2名までの食費等は桃園市負担

(3名の渡航費用と宿泊費用及び1名の食費等は当市負担)

2. ジョージア国テラヴィ市代表団の当市来訪及び姉妹都市協定締結について

昨年来、両市長の相互訪問等により交流を進めておりますジョージア国テラヴィ市につきまして、今般、下記により3月31日から4日間の日程で、テラヴィ市長はじめとした訪問団が当市に来訪されることになりましたのでご報告いたします。

また、今般のご来訪にあわせ、交流の当初から視野に入れておりました姉妹都市協定を締結する予定で調整を進めておりますので、あわせてご報告いたします。

記

(1)経緯

ジョージア国テラヴィ市との交流は、一昨年11月、駐日ジョージア大使が母校である県立牛久栄進高校での講演後に当市役所等へ来訪されたことを契機として始まりました。

大使との意見交換の中で、当市から、日本で初めての本格的な西洋式ワイナリーである牛久シャトーが所在する当市にとって、ワイン発祥の地であるジョージア国の自治体と交流することは意義があると考えていることや、その交流希望をお伝えしたところ、その後、大使館から、同国の中でもワイン生産が盛んなカヘティ州の州都であり、多くのワイナリーが所在するテラヴィ市をご紹介いただいたものです。

それにより、昨年3月31日から4月3日までの4日間、テラヴィ市長をはじめ、カヘティ州代表、ジョージア国会議員を含む4名の代表団が当市に来訪され、また、5月24日から27日までの4日間、ジョージア国の独立記念日イベントへご招待いただいたことを受け、沼田市長はじめ市内ワイン醸造家など4名がテラヴィ市を訪問し、交流を深めてまいりました。

そのような中、昨年11月に新たなテラヴィ市長が就任されたことから、12月に新市長と沼田市長がオンライン会議を行い、今般、訪問団がご来訪いただくことになったものです。

(2)代表団来訪日程

令和8年3月31日(火)から4月3日(金)までの4日間

(3)姉妹都市協定締結について

両市の友好交流を推進する内容の姉妹都市協定を4月2日(木)に締結する予定で調整中

(4)来訪者

ヴァジャ・マグラゼ氏 (テラヴィ市長)

ピクリア・クシタシュヴィリ氏 (同市 文化、教育、スポーツ、青少年事務部門責任者)

ヴァレリアン・グレメラシュヴィリ氏 (同市 国際交流・企画部門責任者)

タムタ・カルチャイゼ氏 (同市 市長助手)

(5)訪問費用

4日間の宿泊費用、食費等は当市負担

(渡航費用のみテラヴィ市負担)